

一般質問

11月29日、12月2日の本会議で24人の議員が一般質問を行いました。各議員タイトル欄の2次元バーコードから録画中継をご覧いただけます。

台風第19号を教訓に自然災害から市民を守れ



公明党 柏谷 稔 議員

議員 令和元年10月に発生した台風第19号において、野川の氾濫の危険性が危惧された。都のライブカメラは、恐らくアクセス集中により閲覧ができなくなった。本市のホームページ上でも、河川のライブカメラ映像を確認できるような環境整備が必要ではないか。

市長 都も改善の検討をしているようだが、本市としてもカメラの設置や設置場所等について検討したい。

議員 星と森と絵本の家など、災害時の活用が想定されていない施設を避難所等にすることについて伺う。

市長 指摘の施設や元気創造プラザ等を避難場所として

全ての子どもが大切にされる環境整備を求める



公明党 大倉あき子 議員

議員 医療的ケア児に関する更なる支援の充実が必要だ。来年度から医療的ケア児の保育園受け入れが本市で始まるが、受け入れ枠は1名で対象も限定的だ。人数や対象の拡充等、今後の方向性について伺う。

市長 医療的ケア児に関する知識・技術の習得、安全性を確保した体制の整備を図りながら、受け入れ枠の拡充等を検討していく。

議員 地域での学びを希望する医療的ケア児の親は多い。市内公立小・中学校で

の受け入れについて伺う。

教育長 就学相談等を経て就学が適当と判断された場合には、必要な体制整備等について検討していく。

議員 不登校児童・生徒に寄り添った取り組みが重要だ。文部科学省の「不登校児童生徒の支援の在り方について」に明記されている、ICTを活用した学習支援とフリースクールとの

議員 平成26年10月から定期接種となった高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンについて、平成30年度までの成果と課題を伺う。

市長 約1万3千人への接種を行った。接種率は30%であり、未接種者への対応が大きな課題である。

議員 本年度65歳となる新たな接種対象者及び接種済みの人数並びに通知及び再通知の実施状況を伺う。

保健医療担当部長 本年度65歳となる方は1千700人、うち本年度9月末現在20人が接種済みである。個別通知は年度当初に送付しており、再通知については今後の検討課題と考えている。

予防接種率向上に向け更なる取り組みを



公明党 赤松 大一 議員

議員 風しん抗体検査及び予防接種の実施率向上に向け、市内協力医療機関での休日・夜間実施が必要と考える。所見を伺う。

市長 市内協力医療機関に対し特別な働きかけは行っていない。まずは市外でも受診可能なことを更に周知することが重要と考える。

議員 令和2年10月よりロタウイルスワクチンが同年8月生まれ以降の子どもの対象に定期接種となる。対象外の子どもの補助事業を行うべきではないか。

保健医療担当部長 現時点では本市独自の費用助成を行う予定はない。国の基準を原則とし実施していく。

福祉分野と建設業における人材確保に努めよ



公明党 寺井 均 議員

議員 社会福祉法人の職員の離職率が1割を超える。働き続けられる職場環境づくりが重要だ。本市独自の

議員 連携について見解を伺う。

教育部長 ICTを活用した学習支援は大変有効な支援の一つだ。また、フリースクールとの連携については、児童・生徒の個々の状況に応じた支援を行い、安心して教育が受けられるよう、積極的に進めていく。

その他の質問 フードバンク・フードドライブについて

々な施策を展開していく。

議員 福祉人材確保のため福祉分野の就業支援やボランティア活動支援を更に拡充すべきだ。所見を伺う。

健康福祉部調整担当部長 民間の福祉関係事業所との連携を含め、福祉分野への就業、ボランティア活動等の振興を図っていく。

議員 介護人材を育てる上で、小・中学校での福祉教育、職場体験は効果がある。今後の取り組みを伺う。

教育長 キャリア教育の一環として、福祉分野への就業も進路選択の一つとして指導するとともに、児童・生徒が福祉職場においてボランティア活動支援を更に拡充すべきだ。所見を伺う。

議員 建設業は慢性的な人手不足で、人材確保が課題だ。担い手を育てるために短期の工事についても年度をまたぐ工期発注を可能とし、工事の平準化を図るべきである。所見を伺う。

副市長 人手不足の観点等を踏まえ、債務負担行為の活用を含め、計画的な工事発注に努める。

人に優しく、もっと住みやすいまちづくりを



民主緑風会 小幡 和仁 議員

議員 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業は、全市民の意見・英知を結集したものでなくてはならない。多様な市民が企画の段階から参加できる仕組みを早期に構築するべきだ。

市長 地権者と丁寧話し合い理解を得た上で、適宜適切な時期に市民の意見を聞く機会を設けたい。

議員 市営駐輪場の収支については毎年厳しい状況が続いている。特に三鷹台第1駐輪場は大幅な赤字だ。市内の駐輪場全体の収支について見解を伺う。

都市整備部長 駐輪場用地に賃借地が多いことなどから歳入に対し歳出が上回っている。駐輪場の統廃合を含む再配置や適正な受益者負担等の検討に取り組む。

議員 市は赤字でありながら、駐輪場の利用料金収入から必要経費を除いた2分

業も進路選択の一つとして指導するとともに、児童・生徒が福祉職場においてボランティア活動支援を更に拡充すべきだ。所見を伺う。

議員 建設業は慢性的な人手不足で、人材確保が課題だ。担い手を育てるために短期の工事についても年度をまたぐ工期発注を可能とし、工事の平準化を図るべきである。所見を伺う。

副市長 人手不足の観点等を踏まえ、債務負担行為の活用を含め、計画的な工事発注に努める。

議員 川上郷自然の村における被災及び休館情報を本ホームページに記載すべきと考える。所見を伺う。

企画部調整担当部長 市民への情報提供については正確で適切な情報を提供する

台風第19号を教訓に災害に強いまちづくりを



民主緑風会 谷口 敏也 議員

議員 持続可能なまちづくりのために、災害に強いまちづくりを更に推進すべきと考える。台風発生時における高齢者など情報弱者への避難所開設に係る情報提供のあり方について伺う。

危機管理担当部長 当該情報についてはホームページや安全安心メール等で周知している。防災行政無線を活用した周知については今後の検討課題としたい。

議員 野川の氾濫に備え新たな避難所指定の検討が必要と考える。所見を伺う。

危機管理担当部長 風水害時における新たな避難所の指定については地域防災計画の改定を踏まえ、検討していきたい。

議員 川上郷自然の村における被災及び休館情報を本ホームページに記載すべきと考える。所見を伺う。

企画部調整担当部長 市民への情報提供については正確で適切な情報を提供する

進めると期待している。積極的に検討したい。

議員 持続可能なまちづくりのために、災害に強いまちづくりを更に推進すべきと考える。台風発生時における高齢者など情報弱者への避難所開設に係る情報提供のあり方について伺う。

議員 当該施設の利用する児童・生徒のためにも一刻も早い施設の修復が必要と考える。復旧作業計画と修復内容について伺う。

教育長 当該施設は寒冷地にあることから令和2年2月ごろまで本格的な工事は困難なため、緊急的に行うべき対応を実施した。本格的対応が可能となる2年春以降に向けて関係部署等とも連携・協議しながら今後の対応を検討したい。

子どもの医療費助成を拡充し格差解消を進めよ



日本共産党 前田 まい 議員

議員 子どもの医療費助成の拡充は、福祉施策としてだけでなく子育て支援策としても重要である。現状と中長期的な所見を伺う。

市長 都の基準に基づき実

施している。安心して子育てができる環境整備の一つとして、中学生の所得制限撤廃が引き続き検討すべき課題と認識している。

議員 義務教育就学児医療